

事業報告書

自 平成 26 年 4 月 1 日

至 平成 27 年 3 月 31 日

公益財団法人 和敬塾

1. 事業の概要

本年度におきましても、建塾の趣意に則り、その目的を達成するために「公益財団法人和敬塾 定款」第4条の各事業を行いました。

また、平成27年度に迎える創立60周年を見据え、「和敬塾設立趣意書」並びに財団設立の趣旨である「共同生活を通じた人間形成の場」を本旨とし、これまでの成果の上に、新たな時代の要請に応える人間教育を目指し、塾役職員並びに塾生が一体となって取り組みました。次に、実施しました事業の活動の概況等を項目別にご報告致します。

(1) 学生寮並びに研修施設・体育施設・生活施設の運営（1号事業）

① 共同生活の場である各施設的良好なる状態の維持の為の改修工事等

- *大講堂天井改修工事、食堂用空調機設置工事、学生ホール非常灯改修工事、寮宿直室防災ベル取付工事、南寮並びに乾寮エントランス空調機設置工事、学生ホール外壁タイル補修工事等を行なった。
- *空調設備、電気設備、エレベーター等の各種保守点検を行なった。
- *空調機等の修理並びに取り換え工事を行なった。
- *保護樹木の剪定を行なった。

(2) 入寮学生の共同生活による修養、研鑽への援助（2号事業）

① 入塾式、塾祭、早朝スポーツ大会、山の手一周ハイキング、体育祭、予餞会、シンポジウム、日本伝統歳事の実施

- *新入生受入れ行事、創立記念塾祭、各寮対抗競技の体育祭、予餞会の四大大行事を企画し実行することによって自主性、協調性を養い、自らの人間形成に資するよう実施した。
- *これらの行事は後述の月別実施経過の通り、塾生委員会を中心として活発に行なった。

② 教養講座（中国古典輪読会・直心影流法定・棋道・書道・茶道・坐禅・居合道・絵画研究会・柔道・剣道・空手道・グレートブックス研究会等）の推進・強化

- *入寮式の一環として教養講座紹介フェアを開催し新入塾生の勧誘に努めた。
- *各教養講座のより一層の活性化を図る為、師範・顧問・塾生が各講座の意義を共通認識して、積極的に参加を呼びかけた。

③ 塾生委員会が主催する年間行事の指導

- *各寮塾生代表者、各寮長、塾役職員による全塾会議を年間6回開催し、日常生活への指導を含め行なった。
- *各行事（体育祭・早朝スポーツ大会・山の手一周ハイキング等）に関しては、その目的・意義を認識させ塾生が主体性をもって企画、実施、反省を行なうよう指導した。

④ 一年生面談及び年末一・二・三年生継続面接の実施

- *寮長、副寮長が、塾生と個別に面談し、それぞれの生活実態について話し合い、より人間的な成長を促した。
具体的には、6月～7月にかけて新入塾生と面談し、それぞれの父母へ、大学生として初めて共同生活を体験した心の変化や成長を伝えた。また、12月～1月

にかけては一年生、二年生、三年生と対話し、自分の役割や学年毎の役割を気づかせるとともに継続在塾の意志を確認している。

⑤ 寮長及び副寮長による塾生委員会活動への参加

* 各寮委員会の会議、各寮総会への参加並びに日常生活での場면을捉えて行なった。

⑥ 塾誌「和敬」の発行

* 10月に特集－1「和敬塾創立60周年企画 北寮卒者座談会～和敬塾のこれから～」特集－2「俺も！僕も！私も！声の広場」として塾誌「和敬94号」、3月に特集「和敬塾創立60周年企画第2弾 西寮・北寮卒者座談会」として塾誌「和敬95号」を発行した。

⑦ 外部学生との交流会、パーティ、サークル活動等への支援

* 7月3日から4日にかけて、中華民国大学生訪日研修団と当塾塾生との交流合宿が和敬塾本館にて行なわれ、塾内見学、茶道体験、歓迎夕食会、討論会などを通して文化交流を行なった。

⑧ 塾友会との各種情報交換

* 和敬塾卒塾生のOB会である塾友会との連携を深めるため緊密な情報交換を行うとともに、「賀詞交歓会」、「ホームカミング大会」等への協力も行なった。

⑨ 所轄官庁の協力による防災活動

* 必要に応じて大塚警察署並びに小石川消防署、小石川保健所等から助言を受け防災体制の確立に努めた。

* 防災倉庫、備蓄食糧庫、災害時用諸機材の点検などを定期的に行なっている。

⑩ 地域社会との交流を目指した近隣美化活動等の実施

* 地域住民との交流を深めるとともに、塾生の地域社会に対する奉仕の実践の場として、地域の美化活動等を行なった。

* 餅つき大会に招待するとともに、地元町内会の餅つき大会に協力、参加した。

(3) 講演会、講座、討論会等の開催（3号事業）

① 入塾式、塾祭、体育祭、予餞会での記念講演

* 後述の通り、各界の有識者をお招きして開催した。

② 役職員並びに講師と塾生代表との懇親会

* 新・旧塾生委員会会議、講演会、シンポジウム等の終了後、質疑応答を兼ねて行なった。

③ 講演会、教養活動、シンポジウム等の活性化

* 入塾式、塾祭、体育祭、予餞会等の行事を中心に行なわれる講演会並びにシンポジウムでは、質疑応答の時間や講師との対話をする場を設けた。

* 異寮寮生による、学部生も参加できる研究発表会等を行なった。

* 北寮寮生によるOB講演会を行った。

④ 別冊「和敬」による講演記録の発行

* 別冊「和敬」第45号として、拓殖大学教授 呉善花先生による予餞会記念講演「日韓関係の展望」を作成中である。

⑤ ホームページによる和敬情報の発信

* 塾生の日常生活や各種行事の掲載や適時の更新を行ない、情報発信力を高めている。

* 寮毎に、塾生によるホームページを公開し、寮生活の情報を発信している。

* 和敬塾に対するご父兄の理解を深めるため、防災関連施設や食堂の紹介等を適時更新並びに追加した。

⑥ 三・四年生の為の企業説明会

* 企業説明会を計2回にわたり開催した。協力していただいた企業は、三菱UFJ

モルガンスタンレー証券(株)、(株)セブンイレブン・ジャパンである。平成28年卒業者に対する募集活動が、平成27年3月1日の開始となったため、今期の企業説明会の開催は例年に比べ少なかった。

*就職支援活動の一環として、佐倉摩耶先生をお招きし3月5日、3月11日、3月17日にわたり「セルフプロデュース講座」と題してマナー研修会を行った。

(4) 奨学金の貸与 (4号事業)

① 学部生13名、大学院生3名、計16名に貸与した。

(5) 東京都指定有形文化財「旧細川侯爵邸」の保存並びに活用 (5号事業)

① 本館文化財指定に基づく一般公開

*概ね各月2回程度を目処とした自主公開並びに東京都主催による文化財ウィークにおいて一般公開を行なった。参加者は、441名であった。

② 次期保存工事の為の調査

*平成18年版「旧細川侯爵邸(和敬塾本館)保存活用計画報告書」をもとに、「東京都指定有形文化財 旧細川侯爵邸(和敬塾本館)保存修理実施計画」(案)が完成した。

(6) その他、第4条の目的を達成するために必要な事業 (6号事業)

① 塾生募集活動

*進学雑誌並びに全国進学相談会での学生会館パンフレット等への掲載、塾友からの支援、塾生の勧誘等を通して行なった。

② 地積確定

*本年度は現況平面・公図重ね図等が完成し、今後、境界画定作業に移る予定である。

③ 60周年記念事業の準備

*塾役職員による実行委員会において記念式典、周年事業の詳細を検討した。

*記念誌発刊に向けて準備中である。

*卒塾10年塾友、20年塾友座談会を開催した。

(7) 平成26年度年間事業実施経過

月	日	全塾	年間行事・催事					東寮	西寮	南寮	北寮	乾寮	巽寮
			東寮	西寮	南寮	北寮	乾寮						
4	2	教養講座全体会議	新入塾生歓迎行事										
	初旬	入塾選考面接終了(留学生)	入塾式(東寮担当)										
	初旬	新入塾生歓迎行事	花見										
	13	入塾式・記念講演 (東京大学総長 濱田純一)	新入塾生歓迎会(委員会主催)	寮生総会(新入生紹介)	新歓委員会総括	新入生歓迎コンパ	新入生歓迎パーティ	新入寮生歓迎パーティ					
28	前年度募集活動総括	新歓行事反省会(委員会)	寮内環境整備(体育厚生部)	お花見会	留学生歓迎コンパ	教養講座活動開始							
			寮内環境整備(体育厚生部)	新入生-先輩お部屋廻り	合同ハイキング	委員会総会(前期活動方針等)	塾祭準備						
			班会議	新入生-お立ち台	前期委員会総会								
			塾祭準備	新西寮生歓迎コンパ									
				塾祭準備									
5	5	行事食(子供の日)	塾祭・三年生劇(北寮担当)										
	10	フレッシュマン劇	早朝スポーツ大会(西寮担当)										
	11	塾祭・記念公演 (クラシックギター奏者 村治奏一)	山の手一周ハイキング(乾寮担当)										
			フレッシュマン劇参加										巽寮研究発表会・懇親会
	22	空調機点検	塾祭反省会(委員会)	新入生受入れ行事総括会議	塾祭反省会	塾祭反省会						部屋移動希望調査・移動	
	20	塾生募集会議(平成27年度募集計画)	寮内環境整備(体育厚生部)										
	19~	早朝スポーツ大会開始	班会議										
	22	(予備日:23日)											
	27	ボイラー点検											
	28~	消防設備点検											
31													
31	山の手一周ハイキング												
6	2	理事会(決算等)	一年生面談										
	9	山の手一周ハイキング反省会	新歓行事総括(委員会)			OB講演会	新歓実施についての会議スタート	国別対抗料理自慢選手権					
	初旬	次年度募集資料作成開始	寮内環境整備(体育厚生部)			(鈴木淳司氏 S57 西卒 衆議院議員)							
	上旬	日本人及び留学生募集開始(9月生)	東寮感謝祭(文化総務部)										
	中旬	寮長・副寮長による一年生面談	留学生交流懇親会(国際部)										
24	評議員会(決算等)	班会議											
7	3~	日華学生交流会	日華学生交流会(南寮担当)										
	4		一年生父母への近況報告										巽寮研究発表会
	29	行事食(土用の丑の日)	前期委員会活動総括	三年生会議(後期役員候補選出)	新入生歓迎ライブ	3年生学年会(委員長候補選出)	前期テスト集中中間						
		寮内環境整備(体育厚生部)			後期委員会候補選出	OB講演会	委員会大掃除						
		近隣清掃(体育厚生部)				(杉本敦氏 H25 北卒 google)							
		班会議				後期委員長候補立会演説会							
						後期委員長選出							

月	日	全塾	東寮	西寮	南寮	北寮	乾寮	巽寮
8	上旬	一年生による母校訪問	塾生募集協力（在塾生母校訪問）					
	8	貯水槽定期検査・清掃	寮周辺環境整備					
	11	食堂設備点検・消毒	後期委員会メンバー選出	寮事務所・寮生懇親納涼会	南寮納涼祭	北寮和敬合宿	寮生総会	体育祭参加種目の打合せ
	26	ボイラー点検	後期委員会と方針すり合わせ	寮生総会 （前期事業報告・後期役員選出） 西寮旅行		体育祭準備会合 北寮内外大掃除 （寮事務所・寮生納涼懇親会）	（前期事業報告・後期役員選出） 次期委員長及び部長選出	
9	9～	体育祭	体育祭結団式					
	28		体育祭（乾寮担当）					
	16	塾生募集会議（次年度募集要項確認）	後期委員会発足					
	18	平成26年度秋期全塾会議	後期新旧委員会会議					
	〃	平成26年度後期新旧委員会会議	東寮後期総会	寮生総会（後期事業計画）	寮生総会及び後期委員長選出	委員会総会	秋入塾留学生歓迎パーティ	巽会総会（次期役員選出）
	中旬	留学生入塾面接	寮内環境整備（体育厚生部）	寮事務所・委員会懇親会		（前期活動報告・後期活動方針）		
	23	行事食（秋分の日）	班会議	秋入学新入生受入れ行事		全塾体育祭準備会議		
28	体育祭本祭競技・表彰式	体育祭実行会議（体育厚生部）						
10	21	空調機点検	体育祭記念講演会（乾寮担当）					
	26	東京文化財ウィーク	体育祭反省会（委員会） 寮内環境整備（体育厚生部） 班会議	体育祭反省会	体育祭反省会	体育祭反省会 OB講演会 （古閑孝典 H22北卒 三菱商事勤務）	寮生委員会・パーベキュー懇親会	秋期新留学生面接、受入れ 秋の夜長懇親会
11	4	塾生募集会議（9月生募集活動総括）	在塾生継続面接開始					
	10	入塾選考面接開始	シンポジウム（南寮担当）					
	中旬	次年度募集資料送付（高校等）	予餞会準備（文化総務部）	予餞会準備（文化部）	予餞会準備（文化部）	北寮フリーマーケット	寮生総会（和敬状況説明）	巽寮研究発表会
	16	ボイラー点検	近隣清掃（体育厚生部）		留学生歓迎懇親会	予餞会準備（文化総務部）		部屋移動希望調査・移動
	22	全塾会議	寮内環境整備（体育厚生部）					
	26～	消防設備点検	班会議、新聞読書会					
	28							
29	シンポジウム （前駐米大使 上智大学特別招聘教授 藤崎 一郎）							
下旬	在塾生継続面接開始							
12	14	予餞会 記念講演会 （拓殖大学教授 呉 善花）	予餞会（西寮担当）					
	20～	平成26年度全塾研修会議	在塾生継続面接					
	21		餅つき大会（南寮担当）					
	25	餅つき大会	全塾研修					
	25	行事食（クリスマス）	寮内環境整備（体育厚生部） 卒業退塾予定の確認 班会議 一年生会、二年生会開催 （全塾研修に向けての討議） 留学生交流会（国際部） 新聞読書会	卒業生歓送会 西寮ライブコンサート 二年生会議（次期役員候補選出）	卒業生歓送ダンスパーティー 卒業退塾予定確認 年末寮内大掃除 部屋移動申請と調整 塾生募集協力（在塾生母校訪問） 前期委員長選出	進路研究会参加（塾友会主催） クリスマスパーティ 予餞会反省・全塾研修準備 部屋移動通知 北寮内外大掃除 （寮事務所・寮生懇親会） 在塾生継続面接終了		クリスマスパーティー
29	食堂設備点検・消毒							

月	日	全塾	東寮	西寮	南寮	北寮	乾寮	巽寮	
1	1 1	鏡開き	鏡開き参加（剣道部担当）						
	1 3	行事食（成人の日）	部屋移動開始						学部生寮からの新入寮生申込受付
	中旬	在塾生継続面接終了	部屋移動の申請と調整 (文化総務部)	西寮会議（部屋移動方針）	貸与備品調査 新三年生会 卒業退塾と部屋割作業 新入塾生居室準備	二年生会（委員長候補選出・新歓行事検討） 一、二年生会（新歓行事検討）	後期テスト集中月間 一、二年生会 継続面接まとめ		
	下旬	塾生部屋移動・居室整備	二年生会開催 (前期委員会発足に向けて)						
	下旬	継続面接総括会議	一年生会開催（新歓について） 寮内環境整備（体育厚生部） 班会議、新聞読書会						
2	3	節分（各寮豆まき実施）	前期委員会発足						
	〃	行事食（節分）	前期新旧委員会会議参加						
	2 4	ボイラー点検	部屋移動						学部生寮からの新入寮生面接
	2 4	平成 26 年度全塾会議	寮内環境整備（体育厚生部） 学年別集会の開催（一、二年生） 新入生募集活動	寮生総会（後期事業報告・ 前期役員選出）	新三年生会 後期委員会総会 四年生送別ライブ	新入塾生居室準備 委員長候補立会演説会 前期委員長選出・部長／班長決定 一、二年生会（新歓行事の準備）	寮生総会 (新歓行事打合せ・後期事業報告 ・次期委員長及び部長選出)	異寮研究発表会	
	〃	平成 27 年度前期新旧委員会会議	四年生お別れ会、班会議 前期委員会と方針すり合わせ 新聞読書会				一年生会 新入塾生居室受入準備 乾寮新 4 年生ガイダンス 乾寮新 3 年生ガイダンス		
	下旬	次年度予算案作成	四年生卒業退塾						
下旬	修士生巽寮へ移動								
末日	四年生卒業退塾								
3	3	行事食（雛祭り）	新入塾生入寮・新歓行事開始						
	1 4	全塾会議	東寮総会 新歓行事準備	寮生総会（前期事業計画、新歓行事） チューター選任 新入塾生居室受入準備	新入塾生居室準備 新歓行事最終打合せ 新四年生への新歓骨子説明会 学年末大掃除	各学年会（新入生受入れ準備） 北寮総会（新歓行事説明・承認） 北寮内外大掃除 (寮事務所・寮生懇親会)	寮生集会 (前期事業計画、新歓行事) チューター選任 新入塾生居室受入準備 委員会大掃除	新入寮生受入準備 留学生及び外部からの 新大学院生面接・入寮 異寮総会（次期役員選出）	
	下旬	教養講座顧問・部長会議	寮内環境整備（体育厚生部） 班会議、新聞読書会						
	下旬	新入塾生歓迎方針の最終打合わせ							
	下旬	入塾選考面接終了（日本人）							
	下旬	新入塾生入寮日・歓迎行事開始							
	2 3	理事会（予算等）							
	2 5	入寮日							
	2 8	入塾オリエンテーション							

(8) 講演会、シンポジウム、セミナー、文化活動

年 月 日			
平成 26. 4. 13	演題	よりグローバルに、よりタフに	
	講師	東京大学 総長	濱 田 純 一
平成 26. 5. 11	演題	異文化交流とクラウドファンディング	
	講師	クラシックギター奏者	村 治 奏 一
平成 26. 11. 29	演題	国際社会で活躍する人に求められるものは何か	
	講師	前駐米大使 上智大学特別招聘教授	藤 崎 一 郎
平成 26. 12. 14	演題	日韓関係の展望	
	講師	拓殖大学教授	呉 善 花

(9) 教養講座

一流講師の直接指導を受けて、合宿や会食も取り入れ、お互いに切磋琢磨をはかっている。実施した講座と講師は下記の通り。

(講 座 名)	(講 師)	(講 座 名)	(講 師)
茶 道	江川 宗京	棋 道	津村 勲夫
空 手 道	岡 精近	書 道	岡本 光平
中国古典輪読会	信夫 息游	居 合 道	山崎 誉
直心影流法定	〃	絵 画 研 究 会	上葛 明広
剣 道	塚本 博之	坐 禅	高石 昭二郎
柔 道	柏崎 克彦	グレートブックス研究会	犬塚 潤一郎

(10) 入塾選考

入塾選考は、入塾願書による選考の後、塾設立の趣旨、塾生活の内容を説明し、理解させた上で面接を行ない、入塾を決定している。なお、本年度の新入塾生は129名(含:留学生48名)であった。尚、昨年度は新入塾生189名(含:留学生72名)である。

(11) 留学生への援助

平成26年度は、131名の留学生が在籍し、日本人塾生との共同生活並びに行事や教養講座への参加・活動を通して、日本文化への理解を深めている。尚、昨年度は185名の留学生が在籍した。

大学別塾生数一覧表 (参考資料)

(平成 27 年 4 月 1 日現在)

No	大 学	一年生	二年生	三年生	四年生	大学院等	留学生	合 計
1	早稲田大学	24	24	35	42	12	62	199
2	東京大学	10	3	5	8	9	1	36
3	上智大学	4	1	2	3	0	12	22
4	明治大学	5	4	5	2	2	0	18
5	日本大学	3	3	3	5	1	0	15
6	法政大学	4	5	3	1	0	0	13
7	立教大学	2	2	6	1	0	0	11
8	東京理科大学	0	2	0	3	3	1	9
9	学習院大学	3	1	2	0	0	1	7
10	慶應義塾大学	0	2	4	1	0	0	7
11	中央大学	0	4	1	1	0	0	6
12	成蹊大学	2	0	2	1	0	0	5
13	國學院大学	0	0	2	2	0	0	4
14	駒澤大学	1	2	1	0	0	0	4
15	東京工業大学	0	0	0	1	3	0	4
16	東洋大学	1	2	1	0	0	0	4
17	国士舘大学	0	1	0	1	0	0	2
18	成城大学	0	2	0	0	0	0	2
19	専修大学	0	2	0	0	0	0	2
20	帝京大学	1	0	1	0	0	0	2
21	電気通信大学	0	1	0	1	0	0	2
22	東京農業大学	1	1	0	0	0	0	2
23	武蔵大学	0	1	1	0	0	0	2
24	青山学院大学	1	0	0	0	0	0	1
25	亜細亜大学	1	0	0	0	0	0	1
26	神田外語大学	1	0	0	0	0	0	1
27	芝浦工業大学	0	1	0	0	0	0	1
28	大正大学	1	0	0	0	0	0	1
29	帝京平成大学	0	1	0	0	0	0	1
30	東海大学	0	0	1	0	0	0	1
31	東京海洋大学	1	0	0	0	0	0	1
32	東京経済大学	0	0	1	0	0	0	1
33	東京歯科大学	1	0	0	0	0	0	1
34	東京電機大学	0	0	0	1	0	0	1
35	東京農工大学	0	0	1	0	0	0	1
36	二松學舎大学	0	1	0	0	0	0	1
37	明治学院大学	0	1	0	0	0	0	1
38	目白大学	0	1	0	0	0	0	1
39	横浜国立大学	0	1	0	0	0	0	1
40	立正大学	0	1	0	0	0	0	1
	合 計	67	70	77	74	30	77	395
	昨 年 度	75	96	78	64	57	93	463

2. 処務の概要

役員等に関する事項

(平成27年3月31日現在)

役職名	氏名	就任年月日	担任職務	常勤・非常勤
理事	前川正雄	H24. 2. 1	理事長	非常勤
〃	前川昭一	〃	塾長	非常勤
〃	佐藤一義	H25. 11. 1	専務理事	常勤
〃	栃木弘義	H24. 2. 1	常務理事	〃
〃	石光豊	〃		非常勤
〃	岩崎嘉夫	〃		〃
〃	太田朝生	〃		〃
〃	奥島孝康	H24. 9. 24		〃
〃	福原毅	H24. 2. 1		〃
〃	松原達哉	〃		〃
〃	藁谷友紀	〃		〃
〃	石崎高義	H26. 6. 24	異寮寮長	常勤
監事	笠原將敏	H24. 2. 1		非常勤
〃	山内豊	〃		〃
評議員	加藤英二	H24. 2. 1		非常勤
〃	加茂田信則	〃		〃
〃	河合素直	〃		〃
〃	田島信元	〃		〃
〃	細越峻	〃		〃
〃	前川正	〃		〃
〃	松岡章次	〃		〃
〃	宮野忠夫	〃		〃
〃	渡邊重範	〃		〃
〃	渡辺光章	〃		〃

3. 役員会等に関する事項

(1) 理事会

開催年月日	議 事 事 項	会議の結果
平成 26. 6. 2	1. 公益財団法人和敬塾 平成 25 年度事業報告並びに決算報告の承認に関する件	原案どおり可決
	2. 定時評議員会招集に関する件	原案どおり可決
	3. 理事 1 名選任に関する件	原案どおり可決
平成 27. 3. 23	1. 公益財団法人和敬塾 平成 27 年度事業計画並びに収支予算の承認に関する件	原案どおり可決
	2. 公益財団法人和敬塾 長期修繕計画（平成 27 年度版）並びに資産取得計画（平成 27 年度版）の承認に関する件	原案どおり可決
	3. 任期満了に伴う次期理事候補者並びに監事候補者、評議員候補者の推薦に関する件	原案どおり可決
	4. 「公益財団法人和敬塾 長期修繕積立資産等取扱規則」の承認に関する件	原案どおり可決

(2) 定時評議員会

開催年月日	議 事 事 項	会議の結果
平成 26. 6. 24	1. 公益財団法人和敬塾 平成 25 年度事業報告に関する件	報告事項
	2. 公益財団法人和敬塾 平成 25 年度決算報告の承認に関する件	原案どおり可決
	3. 理事 1 名選任に関する件	原案どおり可決

4. 附属明細書

平成 26 年度事業報告には、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第 34 条第 3 項にて規定される「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので、附属明細書は作成しない。